

英語脳

英語脳とは何か？

英語脳の定義

英語を英語のまま理解し、英語で考えて英語で話す

例} 今僕の言ってること
そのまま理解してますよね？

学術的な定義

スキル習得理論

知ってる→使える→分かる

例) 自転車をこぐ

自動化

単語

リーディングなどでは最優先で自動化させる

文法

英会話では最優先で自動化させる

音

リスニング・スピーキングの基礎

なぜ音なのか

音声知覚の自動化

注意→知覚→解析→意味理解

音を知らない

最小単位の音・音声変化を知らない

リーディングで言うとアルファベットが
分からないのに、内容を理解しようと
しているということ。

ボトムアップ処理-----リスニングから始める

発音から勉強

発音から英語脳を育てる

1, 英語の音を知る

声の出し方・最小単位の音を理解

喉発声

IPA

音声変化

喉発声→IPA→音声変化

例) 材料→加工・調理→味付け

2, 音を再現する

最小単位の音や単語は音再現可能 (IPA補助あり)

3, 反復して自動化

意味は分からないけど聞いた音を真似できる

リスニング学習 (シャドーイング・リピートイング)

4, 音と意味を統合する

リスニング理解度7, 8割。スピーキング簡単な日常会話なら可能

大量アウトプット (場面を想定して)

5, 語彙と文法の補強

リスニング理解9割。スピーキングほぼ言いたいことは
言える

訓練で不足したものを知識で補う